

楽しんでいただきたために、時を越えて舞台の名作が高画質の定点上映で蘇ります。

舞台芸術作品を「観に行く」から「やってくる」へ。舞台芸術をもっと手軽に

舞台映像上映 Re LIVE THEATER

Reライブシアター

上映作品

10:30 上映



井上ひさし
「戦後『命』の三部作」第三弾

こまつ座『母と暮せば (2024 ver)』
(2024年紀伊屋サザンシアター TAKASHIMAYAにて収録)

原案 井上ひさし
作 畑澤聖悟
演出 栗山民也
出演 富田靖子 松下洸平

14:00 上映



井上ひさし
「昭和庶民伝三部作」第二弾

こまつ座『闇に咲く花 (2023 ver)』
(2023年紀伊屋サザンシアター TAKASHIMAYAにて収録)

作 井上ひさし
演出 栗山民也
出演 山西惇 松下洸平 浅利陽介 増子倭文江 枝元 萌
占部房子 伊藤安那 尾身美詞 塚瀬香名子
尾上寛之 阿岐之将一 田中茂弘 水村直也

2026年 **9月5日** 土 10:30…こまつ座『母と暮せば (2024 ver)』
14:00…こまつ座『闇に咲く花 (2023 ver)』
(開場時間は上映の30分前)

会場 SWS東日本シビックホール一関(一関文化センター) 中ホール **【170席 限定】**

料金 全席指定 **各回** 大人1,000円(税込)、小中高生 **無料** ※未就学児童入場不可
※歩行が難しい方向向けの席あり

チケット発売日 6/11(木) 9:00~インターネット・電話予約
10:30~窓口

問い合わせ SWS東日本シビックホール一関(一関文化センター) Tel 0191-21-2121



チケット予約

Re LIVE THEATER
舞台映像上映 **Reライブシアター**

舞台芸術作品を「観に行く」から「やってくる」へ。
舞台芸術をもっと手軽に楽しんでいただくために、時を越えて舞台の名作が高画質の定点上映で蘇ります。

10:30 上映 こまつ座『母と暮せば (2024 ver)』 (2024年紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYAIにて収録)

原案 井上ひさし
作 畑澤聖悟
演出 栗山民也
出演 富田靖子 松下洸平

上映時間：1時間30分

平和を願うすべての人に捧げる、こまつ座「戦後“命”の三部作」の第三弾。第一弾のヒロシマ(『父と暮せば』)、第二弾のオキナフ(『木の上の軍隊』)に続き、祈りのナガサキを舞台に紡がれる母と息子の命の物語。数々の井上作品を演出してきた栗山民也、劇作家の畑澤聖悟、母・伸子役に富田靖子、息子・浩二役に松下洸平。初演より井上ひさしの意志を受け継いだスタッフ・キャストが、作品を深めるべく集結し、2024年待望の再々演を果たした作品。



撮影：福岡諒詞

14:00 上映 こまつ座『闇に咲く花 (2023 ver)』 (2023年紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYAIにて収録)



作 井上ひさし
演出 栗山民也
出演 山西惇 松下洸平 浅利陽介 増子倭文江 枝元 萌
占部房子 伊藤安那 尾身美詞 塚瀬香名子
尾上寛之 阿岐之将一 田中茂弘 水村直也

上映時間：2時間53分 ※途中休憩あり
(一幕：1時間27分/二幕：1時間26分)

進駐軍の占領下で、今日を生き抜くために人びとは闇の売り買いに必死だった。親を亡くし、子を亡くし、夫を亡くし、友を亡くした人びとが、世の中の新しい枠組みの中で、無我夢中に生きていた。ひとり息子の健太郎を戦地に失った愛敬稲荷神社の神主牛木公磨も、今では近くに住む五人の未亡人たちと寄り合って、稲米の調達に奔走している。そんなある夏の日。思いもかけず、死んだはずの健太郎が愛敬稲荷神社にひょっこりと帰還する。境内に笑顔が弾け、人びとは再会を喜び合う。健太郎もプロ野球選手への夢を実現させた。しかしその喜びもつかの間、健太郎の背後には、大きな黒い影がしのびよっていた……。

全てを忘れかけていた人びとのもとへ、「生きていた英霊」牛木健太郎が贈り届けた、忘れてはならない「記憶」の物語。

※都合により、二幕上映開始から約1時間20分後頃に、約70秒間、音声がミュートとなる箇所がございます。あらかじめご了承ください。

料金

全席指定 **各回** 大人 **1,000** 円(税込)、小中高生 **無料**

※未就学児童入場不可 ※歩行が難しい方向への席あり(当ホール窓口・電話にて申込ください)

チケット
発売開始

6/11(木) 9:00～インターネット・電話予約
10:30～窓口

チケット
取扱

- ・SWS東日本シビックホール一関(一関文化センター) 0191-21-2121
- ・小原書店〔一関市大東町〕 0191-75-3151
- ・インターネットチケット(24時間受付)



チケット予約

会場

SWS東日本シビックホール一関(一関文化センター) 中ホール

〒021-0884 岩手県一関市大手町2番16号(JR一関駅西口より徒歩約7分、一関図書館隣り)

お問合せ

SWS東日本シビックホール一関(一関文化センター)

TEL 0191-21-2121 (受付時間 8:30-17:15)



舞台映像上映

Reライブシアター
とは?

「Reライブシアター」は、「舞台公演映像」と「劇場空間」を掛け合わせた新たな舞台芸術の鑑賞スタイルです。

一般社団法人EPADが全国の公立文化施設と連携して、舞台公演映像の上映活動を展開しています。

「誰かと肩を並べ、同じ時間を共有する」そんな体験は、劇場ならではの楽しさのひとつです。高画質で記録された定点映像を劇場空間で観ることは、まるで俳優たちが目の前にいるかのような錯覚をもたらします。編集を施さない定点映像だからこそ、生の舞台に触れたときの臨場感や高揚感を感じることができるのです。

EPADでは、「Reライブシアター」の取り組みが、舞台芸術の未来につながる新たな一歩になることを目指しています。

EPAD
とは?

舞台芸術アーカイブ+デジタルシアター化支援事業 (Eternal Performing Arts Archives and Digital Theatre)

の略称で、2020年から、舞台芸術の資料収集・デジタルアーカイブ化、そして利活用のサポートに取り組んでいます。

主催



企画

一般社団法人



協力



公益社団法人
全国公立文化施設協会

助成



文化庁 文化庁人材育成・収益化に向けた
舞台芸術デジタルアーカイブ化推進支援事業